

リンゴジュース採用要請へ 県、献血者提供飲料で

リンゴの消費拡大に向け、青森県は十七日、東京など五都府県の赤十字血液センターに対し、献血者に提供する飲料として、県産リンゴジュースを採用するよう三月下旬に要請する方針を明らかにした。

・健政の質問に答え
平館課長は「献血ルームで県産リンゴジュースを提供する仕組みができる、多くの消費者に青森リンゴの安全、安心、高品質を継続的にPRできる。消費拡大に効果が大きい」と説明した。

県職員が三月下旬に東京、神奈川、大阪の三都府県の赤十字血液センターに直接出向き、県産リンゴジュースの採用を依頼する。サンプルを持参し、販売価格を示して検討を申し入れる。埼玉、福岡両県には文書で要請することになっている。

献血ルームでは、献血後の水分補給を目的にジュースなどを無料提供。県内では、希望者に県産リンゴジュースを配布している。

同日の県議会農林水産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

産常任委員会で、平館

献血記念品にリンゴジュース

他県でも採用を

向き、リンゴジュースの種類や価格などを示して採用を打診する。

県産リンゴジュースの消費拡大を目指す県は二十三十七日、東京都、大阪府、神奈川県、奈良県の赤十字血液センターを訪れ、献血の記念品としてリンゴジュースをPRする。

県は今後も県外の血液センターに同様の働き掛けを行っていく方針だ。

十七日の県議会農林水産常任委員会で、伊吹信一委員(公明・健政会)の質問に、平舘稔彦総合販売戦略課長が

東京などで働き掛けへ

答弁した。平舘課長は「本県赤十字血液センターで県産リンゴジュースは定番。首都圏でも『安全、安心、高品質』のリンゴ

県「消費拡大に期待」

ジュースを提供する仕組みが補給にジュースやお茶が使われれば、消費拡大に少なからず効果があると認識している」と述べた。

県によると、三都府県の血液センターに県職員が直接出る。

他県の血液センターに県がリンゴジュースの採用を依頼するのは初めて。埼玉県と福岡県の血液センターにも文書で依頼する。

平舘課長は「献血後の水分